

2020年1月16日
阪神電気鉄道株式会社
PayPay 株式会社

2020年のオープン戦から阪神甲子園球場で「PayPay」が利用可能に ～ 阪神甲子園球場にQRコード決済が初導入！ 客席販売員（売り子）から順次拡大 ～

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、代表取締役社長：秦 雅夫）と、PayPay株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員CEO：中山 一郎）は、阪神電気鉄道株式会社が運営する阪神甲子園球場（以下、甲子園球場）においてQRコード決済サービス「PayPay」を導入します。2020年3月4日（水）のオープン戦（対広島東洋カープ戦）からご利用いただけるようになります。なお、甲子園球場においてQRコード決済が導入されるのは「PayPay」が初めてです。

「PayPay」による決済は、客席販売員（売り子）からスタートします。売り子への「PayPay」導入により、ユーザーはスタンド席で買い物をする際、財布から現金を準備する、おつりを受け取るなどの手間が削減でき、一方、売り子も現金を精算する時間が短縮できるなどのメリットが見込まれます。今後、甲子園球場内における飲食・グッズを販売するすべての店舗でも、順次「PayPay」による決済サービスの取り扱い（※）を開始し、観戦前や観戦中の買い物をより便利でスムーズにお楽しみいただけるよう取り組みます。

※ 取り扱い開始時期、店舗については決まり次第お知らせします。



また、甲子園球場への「PayPay」導入に合わせ、今後、甲子園球場でのお買い物がお得になるキャンペーンを実施する予定です。時期や詳細は決まり次第お知らせします。

※ この資料に記載されている会社名、屋号および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。